

日刊 動労千葉

86. 12. 27

No. 2442

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五・六 (公衆)〇四七二二七二〇七

処分乱発、組織破壊・切り崩し 紙の悪法猶熾-鷹がやえ

動労千葉「分割・民営化」阻止委員会に開催される

動労千葉は十二月二四日、千葉県労働者福祉センターにおいて第十五回定期委員会を開催し、いよいよ正念場を迎えた分割・民営化―十万人首切り阻止の闘いにむけ、組織の団結を打ち固め、一月―三月断固とした反撃に打って出る方針を満場一致決定した。

労働者の全面協力、総屈服 ぬきには不可能

十時、桜沢執行委員の開会挨拶では「分割・民営化されていくスジ道ができたが、国鉄労働者を差別・選別して露頭に放りだし、国鉄のもっている膨大な資産を独占資本が自由に略奪することができるといふ道スジをつくっただけであり、希代の悪法ゆえにこれから間違いなく矛盾が爆発する。われわれが分割・民営化反対の旗をかかげ、団結を堅持し突き進んでいくことが重要である。」と提起した。

「改革協」内部は同床異夢状態で主導権争いに明け暮れ、「一企業一組合」は破綻確実だ。「四月一日実現」の綱渡りスケジュールは、職場・生産点での労働者の全面協力、総屈服ぬきには不可能だ。

分割・民営化の矛盾は何か、ますます深まるばかりだ。法案の通過で逆に追いつめられているのは中曽根・杉浦ではないか。

財界のボスによってかかってに決められようとしている。十二月十一日、財界のボスどもが「新会社」設立委の初会合をもち「新会社」の「採用基準、労働条件」の大ワクを決定した。しかも、十二月二四日には「意思確認書」なるものが全職員に配布され「採用・不採用」を何んの話し合いもなしに一方的に決めるといふ。「労働条件は私鉄なみ」に変更される。

こんな重大なことが労働組合との交渉もないままに財界のボスどもによってかかってに決められようとしている。こんな暴力まがいのヤリ方に国鉄労働者が黙って従えようか。断じて否である。

あらゆる手段を使った組織破壊・切り崩し攻撃を許さず闘いぬく。十二月二四日―一月七日に期限をきって「希望調査」を行ってきた狙いは、いまだに分割・民営化阻止の旗をかかげている動労千葉や国労組合員に対し「組合を脱退しろ」との最後の脅しをかけてきているのである。

経過報告、質疑は、今が正念場、敵の攻撃に屈せず、団結を打ち固め闘いぬくことに集中し、敵は反撃を恐れるがゆえに処分を乱発し、年末年始をはじめにあらゆる手段を使った組織破壊・切り崩し攻撃を許さず闘いぬくことを委員会は確認した。



12月24日 千葉県労働者福祉センター

「改革協」内部は同床異夢状態で主導権争いに明け暮れ、「一企業一組合」は破綻確実だ。「四月一日実現」の綱渡りスケジュールは、職場・生産点での労働者の全面協力、総屈服ぬきには不可能だ。

分割・民営化の矛盾は何か、ますます深まるばかりだ。法案の通過で逆に追いつめられているのは中曽根・杉浦ではないか。